

滝子山(1620m)山行報告

【山行日】 2015年11月7(土) 晴れ
【集 合】 岩舟支所P AM 5:00
【費 用】 マイカー1台 : 4,000円
【メンバー】 CL:鈴木、大西、梶内、島田、藤原、
【コースタイム】 岩舟支所 P5:00=桜森林公園
P7:05/7:20~寂ショウ尾根~滝子山 10:45/10:55
~三角点峰 11:05/11:40~白縫神社 11:50~
道証地蔵 13:15~桜森林公園P13:45=笹一酒造
14:10/14:40=岩舟支所 P16:40

秀麗な富士山と、ずみ沢の美しい紅葉が見られる滝子山を計画した。当初の計画は、8日の予定だったが天気が崩れそうなので7日に変更した。



滝子山への登山コースはいくつかあるが、マイカー登山に便利な寂ショウ尾根を登り、ずみ沢を下るコースとした。

中央高速が八王子JCT付近で少し渋滞したが、予定通り桜森林公園に着いた。

公園にはトイレは無く、談合坂SAでトイレを済ませてきた。ストレッチを済ませて出発する。林道を北に進み、橋を渡った先にほとんど字が読めない寂ショウ苑の看板の所から右の林の中に入る。しばらく進むと寂ショウ苑の廃屋があり、標識に従って左の山道を登って行く。

アカマツの踏み跡を登って行くと、送電鉄塔が建つコルに出る。コルから尾根を登ると林道を横切り、ロープで尾根に取りつく。ブナやミズナラの広葉樹林の尾根は、紅葉が見頃で気持ちよく歩ける。

ぐんぐん高度を上げて行くと、ブナ林の間から富士山の姿を見ることが出来た。途中、富士山を見ながら小休止し、オレンジや菓子を食べてエネルギーを補給する。さらに急な尾根を登ると、岩稜の痩せ尾根を登るようになる。ペンキマークを見失わないよう、慎重に登って行く。K内さんは岩稜の登りが楽しそうだが、F原さんは慣れない岩登りに疲れた様子。登り切った小ピークで休憩し、K内氏お手製の干し柿を美味しくいただき一息入れる。

一旦下って登り返すと浜立山との鞍部に出る。

鞍部から右に進み、ピークを2つ越え、3つ目のピークが滝子山の頂上である。頂上からは360度の大展望が広がり、北方には奥秩父の山々や南大菩薩の山並みが、南には道志山塊や三ツ峠山



などが見えるが、富士山は雲の中に隠れてしまった。風も無く暖かで、沢山の登山者が休憩し山頂からの眺望を楽しんでいた。



我々も記念写真を撮り、眺望を楽しんで次々と登ってくる登山者に場所を譲り下山する。

下山は反対側に降り、ずみ沢への分岐を直進し三角点があるピークでランチタイムとする。

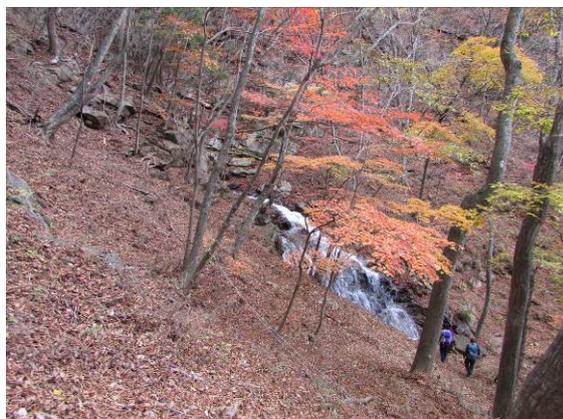
今日のランチはけんちんうどん。里芋やキノコなど具沢山のけんちん汁に太めのきしめんを入れて煮込みとても美味しかった。三角点ピークから分岐まで戻り、ずみ沢方

面へ右に降りて行く。

白縫神社の前を通り、笹子駅への標識に従って降りて行く。やがて広々とした防火帯を歩くようになり、眺望が開け紅葉を楽しみながら降りられる。登山者が次々と登ってくるので、「これじゃ山頂は登山者で溢れちゃうね」と心配になる。やがて登山道は、沢沿いに下るようになり気持ちよく歩ける。途中、一般道と難路の標識があり、迷わず難路を進む。ここからがずみ沢の一番



美しい所で、カエデの紅葉と溪流がマッチしとても素晴らしい。皆さんも「綺麗」「綺麗」を連発し紅葉



に見入っていた。

一般道と合流すると杉の植林帯を歩くようになる。左岸に渡り、沢沿いに高巻いてから降りると木の橋を渡り林道に登った所が道証地蔵だ。ここから林道を30分下ると桜森林公園に着く。

女性達がトイレに寄りたいと言うので、笹一酒造へ寄ることにした。丁度今日から新酒フェアが始まり、大勢の人出賑わっていた。道の反対側の駐車場に車を止め、新酒フェア会場へ急ぐ。

トイレを借り、売店に行くと500円で新酒飲み放題の看板がある。500円でグラスを購入すると、ワインやお酒の新酒がどれでも飲める。早速グラスを購入し、何種類ものワインやお酒を飲み回る。山クラゲの試食をおつまみに、何杯でも飲める。K内氏は16杯も飲んで、元が取れたと上機嫌。

あまり居ると飲みすぎるので、30分で切り上げて帰路につく。

帰りの車の中でもご機嫌で会話が弾み、「山よし」「紅葉よし」「お酒よし」と三拍子そろった山行は大満足のような感じだった。

